

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ミス・パリ・ビューティ専門学校
設置者名	学校法人 ミスパリ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
衛生専門課程 (美容)	美容学科(2年制)	夜・ 通信	1830 時間	80×2= 160 時間	
	トータルビュー ティ学科(2年制)	夜・ 通信	1680 時間	80×2= 160 時間	
	エステティック マスター学科 (1年制)	夜・ 通信	675 時間	80×1= 80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開 (掲載： https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/pdf/course_list.pdf)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ミス・パリ・ビューティ専門学校
設置者名	学校法人 ミスパリ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて一覧を公開 (掲載： https://www.miss-paris.ac.jp/tokyo/info/uploads/riji.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2025.6.13～ 選任後2年以内に 終了する会計 年度のうち最終 のものに関する 定時評議員会の 終結のときまで	法的確認とアド バイス
非常勤	会社役員	2025.6.13～ 選任後2年以内に 終了する会計 年度のうち最終 のものに関する 定時評議員会の 終結のときまで	経営的観点からの アドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ミス・パリ・ビューティ専門学校
設置者名	学校法人 ミスパリ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) トータルビューティ学科(2年制)、美容学科(2年制)、エステティックマスター学科(1年制) 【作成について】 各学科・各授業科目について毎年度末に学科内会議にて、授業科目の設定及び講義内容についての検討・検証を各種アンケート分析結果に基づき協議し作成を行っている。 ≪検討・検証の機会≫ 学校会議(3月、6月、9月、12月に開催) 姉妹校幹部が集まり、理事長及び総務・広報部長と共に学校運営の振り返りと今後の検証を行うもの 教育課程編成委員会(学科別6月、11月に開催) 専門分野に関する動向や、新たに必要とされる知識、技術及び技能など十分に把握、分析した上で、該当課程の教育を施すにふさわしい授業科目の開設や授業方法の改善、工夫を行うなど、企業その他関係機関等の要請に応じた実践的かつ専門的な職業教育が実施されるための教育課程の編成を目的とする委員会。 学内教員向け内規にて、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全校全科目共通で記載する事が必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。 【作成時期について】 翌年度の授業計画は1月までに担当教員が作成し、3月の学校会議・理事会での議案で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。3月中に翌年度分のシラバスをHP上に保管・管理し必要に応じて公開する。	
授業計画書の公表方法	全教科のシラバスに関しては、学校で保管・管理をしており、必要に応じて一般公開をしている
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則の細則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験（レポート含む）により成績評価を行っている。 (参考) 細則第3条 担当教員は、各学期末・年度末の試験終了後、100点法によって学習成績を評価し、校長に報告するものとする。 細則第3条2 学習成績の評価は、試験の成績、実習の成果、履修状況及び平素の学習態度を考慮して行うものとする。 細則第5条 課程修了の認定は、第9条に規定する授業科目をすべて修了した者について校長が行う。ただし、学校の物品等を借用し返済しない者は、課程修了の認定を保留する。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学則の細則にて、授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況を総合的に勘案して行っている。 当校では、進級時特待生、学業優秀者等の表彰候補者選出などに活用している。 学業成績の評価はA、B、C、D、Eを以って示し、A、B、C、Dを合格、Eを不合格とする。 当校では各授業の評価を100点満点を基準として、70点以上を合格としている。 合格者の中でも、評価点数により100～90点を「A」、89～80点を「B」、79～70点を「C」、追試合格を「D」、不合格を「E」として、成績が通知される。 成績評価方法については、学則細目をHPで公開するほか、入学時オリエンテーションで入学生とその保護者に通知している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.miss-paris.ac.jp/tokyo/curriculum/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ミス・パリ・ビューティ専門学校は、教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を基に、エステティシャン・美容師・アイリスト・ネイリスト等の一流の技術と一流の接客を主とする職業専門家を育成し、その意義をもって社会に貢献する事を目的としている。 卒業要件については、学則に定める授業科目ならびに授業時間数を修了すること。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	掲載： https://www.miss-paris.ac.jp/tokyo/curriculum/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ミス・パリ・ビューティ専門学校
設置者名	学校法人 ミスパリ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年7月上旬に最新情報をHP公開している https://www.miss-paris.ac.jp/tokyo/info/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛生関係		専門課程 (美容)	美容学科 (2 年制)		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2010 単位時間	800 単位時間	単位時間	1410 単位時間	単位時間	単位時間	
			2010 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
160 人		106 人	1 人	12 人	20 人		32 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等
(概要) 定期実技試験に向けてセクションごとのチェックテストを実施し、各学生の習熟レベルをセルフチェックできる様にしてクラス内での技術の差を無くしている。資格試験前に模擬試験を3回以上実施、授業時間外にも対策講座(任意)を行っている。また、担任教員による定期面談、随時面談を実施することにより、授業、就職、友人関係等の不安を取り除き、学習に集中できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
58人 (100%)	1人 (2%)	54人 (93%)	3人 (5%)
(主な就職、業界等) BEAUTRIUM、Euphoria、Lond、VISAGE、GLROW、ケゾグループ、ヒアノカ、freera、アライタダ、エクセル、など美容関連企業。			
(就職指導内容) キャリア教育、模擬面接(2回以上)、個人面談、IMS研修、マナー講座、サロン見学、就職フェア、履歴書添削			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家資格、サービスマナー検定、色彩技能パーソナルカラー検定、メイクアップ技能検定、ネイリスト技能検定、JNAジェルネイル技能検定			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	10人	14%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年2回担任教員との個人面談を実施、修学上の不安事項について相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者様同伴で希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
衛生関係		専門課程 (美容)	トータルビューティ 学科 (2 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2085 単位時間	1035 単位時間	単位時間	1050 単位時間	単位時間	単位時間
			2010 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
240 人	177 人	4 人	17 人	8 人	25 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要） 定期実技試験に向けてセクションごとのチェックテストを実施し、各学生の習熟レベルをセルフチェックできる様にしてクラス内での技術の差を無くしている。資格試験前に模擬試験を 3 回以上実施、授業時間外にも対策講座（任意）を行っている。また、担任教員による定期面談、随時面談を実施することにより、授業、就職、友人関係等の不安を取り除き、学習に集中できる体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
83 人 (100%)	7 人 (8%)	75 人 (90%)	1 人 (1%)
（主な就職、業界等） 株式会社ミスパリ、ピアス株式会社、株式会社エストロワ、株式会社ケンジ、株式会社伊勢丹ヒューマンソリューションズ、株式会社アルビオン、株式会社日本ロレアル、株式会社ノンストレス、その他美容関連企業			
（就職指導内容） キャリア教育、合同企業説明会、サロン見学、卒業生講話、個人面談、マナー指導（挨拶・お辞儀・立ち方・姿勢・表情・声・表現力等）、マナー講座、履歴書添削、面接練習等			
（主な学修成果（資格・検定等）） サービスマナー検定、色彩技能パーソナルカラー検定、ネイリスト技能検定、JNA ジェルネイル技能検定、IPSN ジュニアビューティシャン、認定エステティシャン、美容ライト脱毛エステティシャン、ダイエットアドバイザー、ビューティセラピスト、ビューティアドバイザー、茶道許状、華道許状			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
184 人	29 人	15.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更、病気、学校生活不適應など		
(中退防止・中退者支援のための取組) コミュニケーション講座やレクリエーションの実施により人間関係構築の支援を行う。年3回以上担任教員や他職員との個別面談を実施。欠席者には、別途補習授業や補講授業の開講で授業についていけるようにフォローしている。進路変更希望者には本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者同伴で希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
衛生関係		専門課程 (美容)	エステティックマ スター学科 (1 年制)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1020 単位時間	510 単位時間	単位時間	510 単位時間	単位時間	単位時間
			1020 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
12 人		3 人	0 人	5 人	4 人	9 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 定期実技試験に向けてセクションごとのチェックテストを実施し、各学生の習熟レベルをセルフチェックできる様にしてクラス内での技術の差を無くしている。資格試験前に模擬試験を3回以上実施、授業時間外にも対策講座(任意)を行っている。また、担任教員による定期面談、随時面談を実施することにより、授業、就職、友人関係等の不安を取り除き、学習に集中できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	1 人 (20%)	4 人 (80%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 株式会社ミスパリ、株式会社 CREATE A CULTURE			
（就職指導内容） キャリア教育、模擬面接(2 回以上)、個人面談、マナー講座、サロン見学、履歴書添削			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護職員初任者研修、介護予防セラピスト、スパ・セラピスト、茶道許状			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	1 人	16.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 年 2 回担任教員との個人面談を実施、修学上の不安事項について相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者様同伴で希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
美容学科 昼間部 (2 年制)	100.000 円	740.000 円	760.000 円	50.000 円(諸費用)
トータルビューティ学科 昼間部 (2 年制)	100.000 円	820.000 円	650.000 円	100.000 円(諸費用)
エステティックマスター学科 昼間部 (1 年制)	200.000 円	1.080.000 円	420.000 円	50.000 円(諸費用)

修学支援（任意記載事項）

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、学校 HP に公開している https://www.miss-paris.ac.jp/tokyo/info/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者として、関係企業などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。 評価内容については理事会、職員会、各科教科会などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美容関連企業 役員	2025 年 4 月 1 日 ～2027 年 3 月 31 日	企業
エステ関連企業 役員	2025 年 4 月 1 日 ～2027 年 3 月 31 日	企業
地域美容組合 役員	2025 年 4 月 1 日 ～2027 年 3 月 31 日	企業
エステ関連協会 役員	2025 年 4 月 1 日 ～2027 年 3 月 31 日	企業
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、学校 HP に公開している https://www.miss-paris.ac.jp/tokyo/info/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.miss-paris.ac.jp/tokyo/
--